

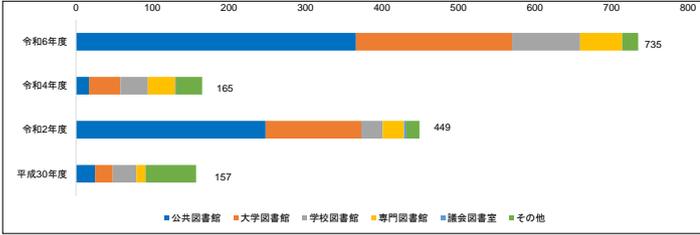
令和6年度国立国会図書館の書誌データに関するアンケートの館種別クロス集計結果

調査期間： 令和6年8月1日～11月30日  
回答総数： 735

(参考)

	公共図書館	大学図書館	学校図書館	専門図書館	議会図書室	その他	回答総数
令和6年度	366	204	89	55	0	21	735
令和4年度	17	41	36	36	1	34	165
令和2年度	248	125	28	28	3	17	449
平成30年度	25	23	31	12	-	66	157

※平成30年度は当館利用者が対象、「-」は当該選択肢なし

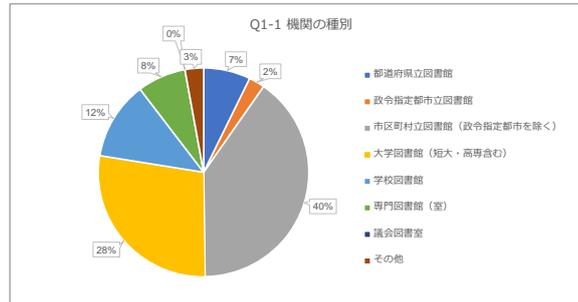


Q1 貴機関についておたずねします。

Q1-1：貴機関の種別を教えてください。(必須回答)

回答数：735

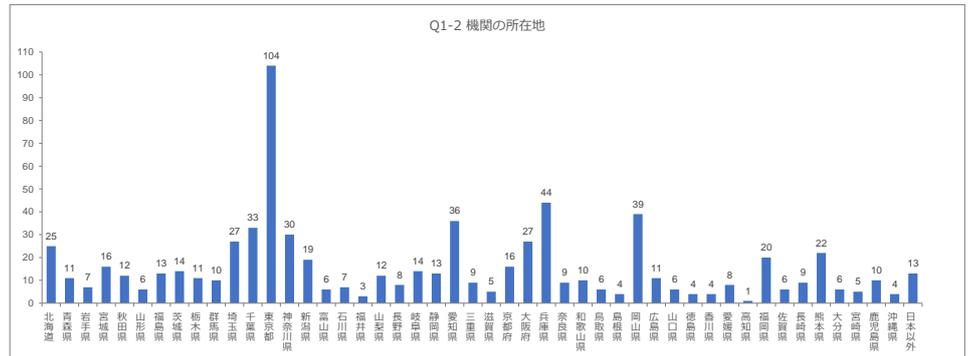
	回答数	百分率
都道府県立図書館	53	7.2%
政令指定都市立図書館	18	2.4%
市区町村立図書館 (政令指定都市を除く)	295	40.1%
大学図書館 (短大・高専含む)	204	27.8%
学校図書館	89	12.1%
専門図書館 (室)	55	7.5%
議会図書室	0	0.0%
その他	21	2.9%



Q1-2：貴機関の所在地を教えてください。(必須回答)

回答数：735

	回答数	百分率
北海道	25	3.4%
青森県	11	1.5%
岩手県	7	1.0%
宮城県	16	2.2%
秋田県	12	1.6%
山形県	6	0.8%
福島県	13	1.8%
茨城県	14	1.9%
栃木県	11	1.5%
群馬県	10	1.4%
埼玉県	27	3.7%
千葉県	33	4.5%
東京都	104	14.1%
神奈川県	30	4.1%
新潟県	19	2.6%
富山県	6	0.8%
石川県	7	1.0%
福井県	3	0.4%
山梨県	12	1.6%
長野県	8	1.1%
岐阜県	14	1.9%
静岡県	13	1.8%
愛知県	36	4.9%
三重県	9	1.2%
滋賀県	5	0.7%
京都府	16	2.2%
大阪府	27	3.7%
兵庫県	44	6.0%
奈良県	9	1.2%
和歌山県	10	1.4%
鳥取県	6	0.8%
島根県	4	0.5%
岡山県	39	5.3%
広島県	11	1.5%
山口県	6	0.8%
徳島県	4	0.5%
香川県	4	0.5%
愛媛県	8	1.1%
高知県	1	0.1%
福岡県	20	2.7%
佐賀県	6	0.8%
長崎県	9	1.2%
熊本県	22	3.0%
大分県	6	0.8%
宮崎県	5	0.7%
鹿児島県	10	1.4%
沖縄県	4	0.5%
日本以外	13	1.8%

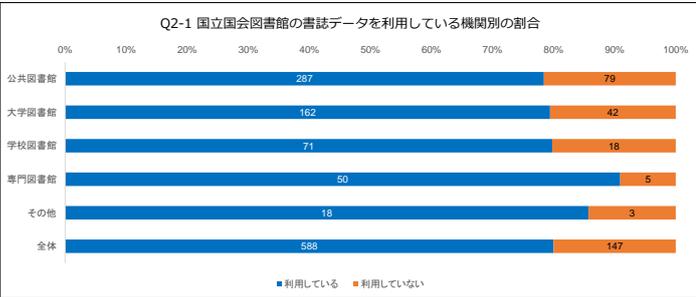


Q2 国立国会図書館の書誌データの利用について、おたずねします。

Q2-1：貴機関では、国立国会図書館の書誌データを利用していますか。（検索やダウンロードなど）（必須回答）

回答数：735

	公共図書館	大学図書館	学校図書館	専門図書館	その他	全体	百分率
利用している	287	162	71	50	18	588	80.0%
利用していない	79	42	18	5	3	147	20.0%
利用している割合	78.4%	79.4%	79.8%	90.9%	85.7%	80.0%	



Q2-2：国立国会図書館の書誌データの利用頻度はどのくらいですか。（検索、ダウンロードなど）

※最も近いものをお答えください。（必須回答）

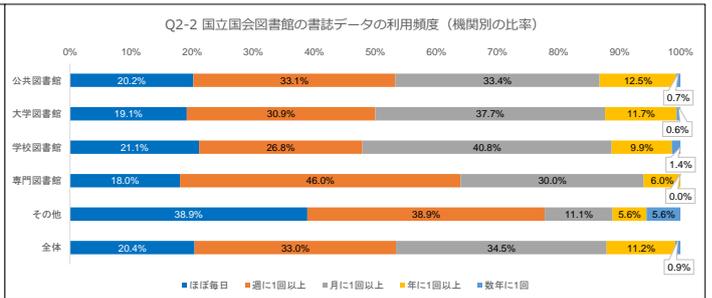
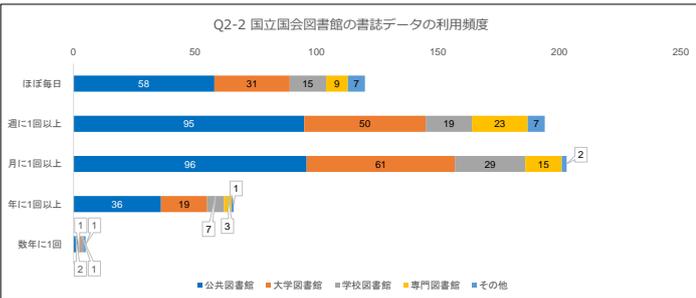
<Q2-1で「利用している」を選択した回答者への質問>

回答数：588

	公共図書館	大学図書館	学校図書館	専門図書館	その他	全体	百分率
ほぼ毎日	58	31	15	9	7	120	20.4%
週に1回以上	95	50	19	23	7	194	33.0%
月に1回以上	96	61	29	15	2	203	34.5%
年に1回以上	36	19	7	3	1	66	11.2%
数年に1回	2	1	1	0	1	5	0.9%

(機関別の比率)

	公共図書館	大学図書館	学校図書館	専門図書館	その他	全体
ほぼ毎日	20.2%	19.1%	21.1%	18.0%	38.9%	20.4%
週に1回以上	33.1%	30.9%	26.8%	46.0%	38.9%	33.0%
月に1回以上	33.4%	37.7%	40.8%	30.0%	11.1%	34.5%
年に1回以上	12.5%	11.7%	9.9%	6.0%	5.6%	11.2%
数年に1回	0.7%	0.6%	1.4%	0.0%	5.6%	0.9%



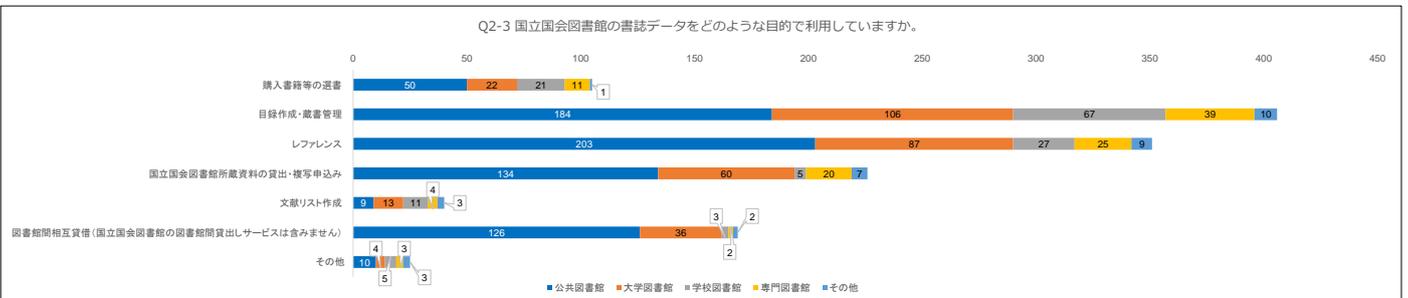
Q2-3：国立国会図書館の書誌データをどのような目的で利用していますか。

※当てはまるものをすべてお選びください。（必須回答・複数回答可）

<Q2-1で「利用している」を選択した回答者への質問>

回答数：588

	公共図書館	大学図書館	学校図書館	専門図書館	その他	全体	百分率
購入書籍等の選書	50	22	21	11	1	105	17.9%
目録作成・蔵書管理	184	106	67	39	10	406	69.0%
レファレンス	203	87	27	25	9	351	59.7%
国立国会図書館所蔵資料の貸出・複写申込み	134	60	5	20	7	226	38.4%
文献リスト作成	9	13	11	4	3	40	6.8%
図書館間相互貸借（国立国会図書館の図書館間貸出しサービスは含みません）	126	36	3	2	2	169	28.7%
その他	10	4	5	3	3	25	4.3%

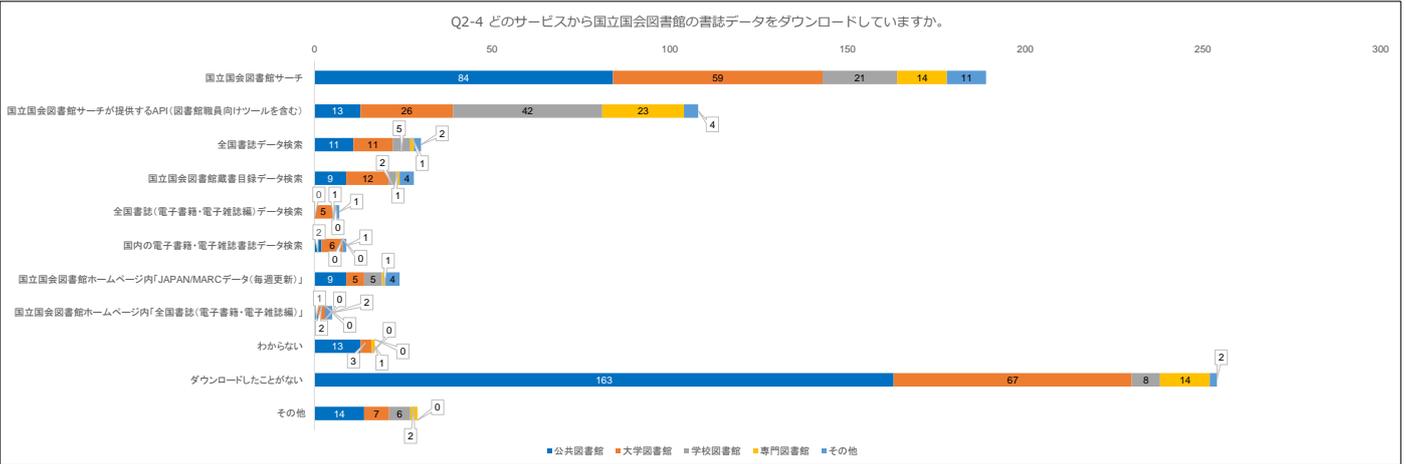


Q2-4：どのサービスから国立国会図書館の書誌データをダウンロードしていますか。

※当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答・複数回答可)  
<Q2-1で「利用している」を選択した回答者への質問>

回答数：588

	公共図書館	大学図書館	学校図書館	専門図書館	その他	全体	百分率
国立国会図書館サーチ	84	59	21	14	11	189	32.1%
国立国会図書館サーチが提供するAPI(図書館職員向けツールを含む)	13	26	42	23	4	108	18.4%
全国書誌データ検索	11	11	5	1	2	30	5.1%
国立国会図書館蔵書目録データ検索	9	12	2	1	4	28	4.8%
全国書誌(電子書籍・電子雑誌編)データ検索	0	5	1	0	1	7	1.2%
国内の電子書籍・電子雑誌書誌データ検索	2	6	0	0	1	9	1.5%
国立国会図書館ホームページ内「JAPAN/MARCデータ(毎週更新)」	9	5	5	1	4	24	4.1%
国立国会図書館ホームページ内「全国書誌(電子書籍・電子雑誌編)」	1	2	0	0	2	5	0.9%
わからない	13	3	0	1	0	17	2.9%
ダウンロードしたことがない	163	67	8	14	2	254	43.2%
その他	14	7	6	2	0	29	4.9%

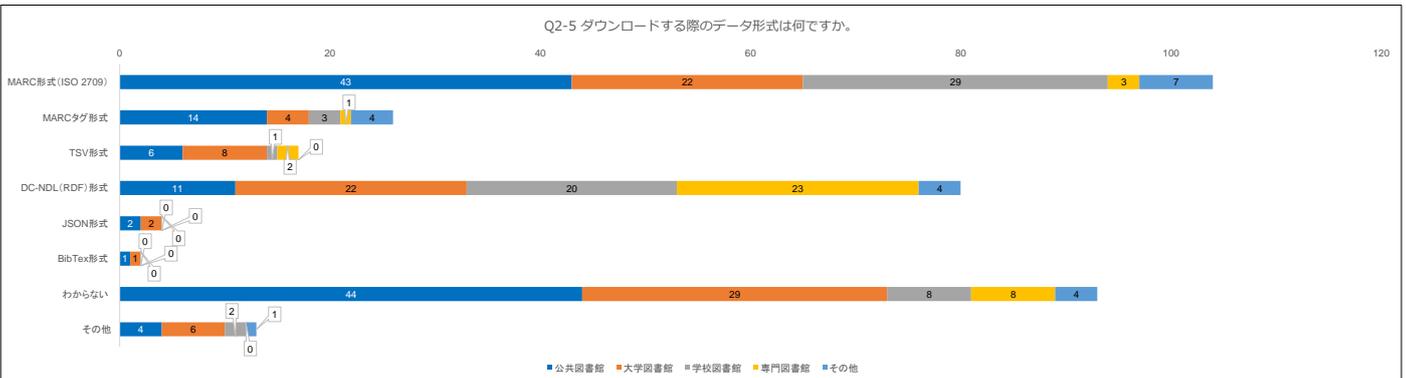


Q2-5：ダウンロードする際のデータ形式は何ですか。

※当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)  
<Q2-4で「ダウンロードしたことがない」以外を選択した回答者への質問>

回答数：334

	公共図書館	大学図書館	学校図書館	専門図書館	その他	全体	百分率
MARC形式 (ISO 2709)	43	22	29	3	7	104	31.1%
MARCタグ形式	14	4	3	1	4	26	7.8%
TSV形式	6	8	1	2	0	17	5.1%
DC-NDL (RDF) 形式	11	22	20	23	4	80	24.0%
JSON形式	2	2	0	0	0	4	1.2%
BibTex形式	1	1	0	0	0	2	0.6%
わからない	44	29	8	8	4	93	27.8%
その他	4	6	2	0	1	13	3.9%

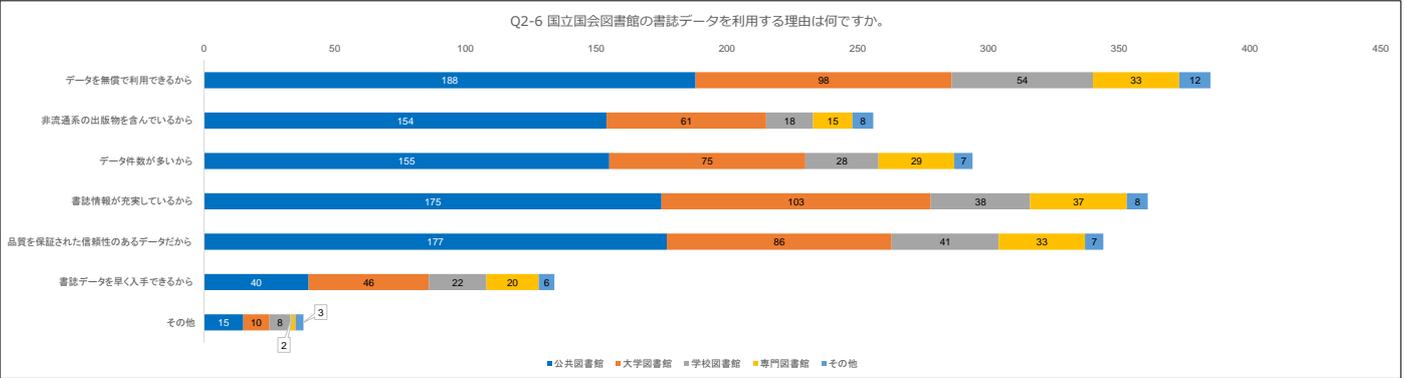


Q2-6：国立国会図書館の書誌データを利用する理由は何ですか。  
※当てはまるものをすべてお選びください。(必須回答・複数回答可)

<Q2-1で「利用している」を選択した回答者への質問>

回答数：588

	公共図書館	大学図書館	学校図書館	専門図書館	その他	全体	百分率
データを無償で利用できるから	188	98	54	33	12	385	65.5%
非流通系の出版物を含んでいるから	154	61	18	15	8	256	43.5%
データ件数が多いから	155	75	28	29	7	294	50.0%
書誌情報が充実しているから	175	103	38	37	8	361	61.4%
品質を保證された信頼性のあるデータだから	177	86	41	33	7	344	58.5%
書誌データを早く入手できるから	40	46	22	20	6	134	22.8%
その他	15	10	8	2	3	38	6.5%



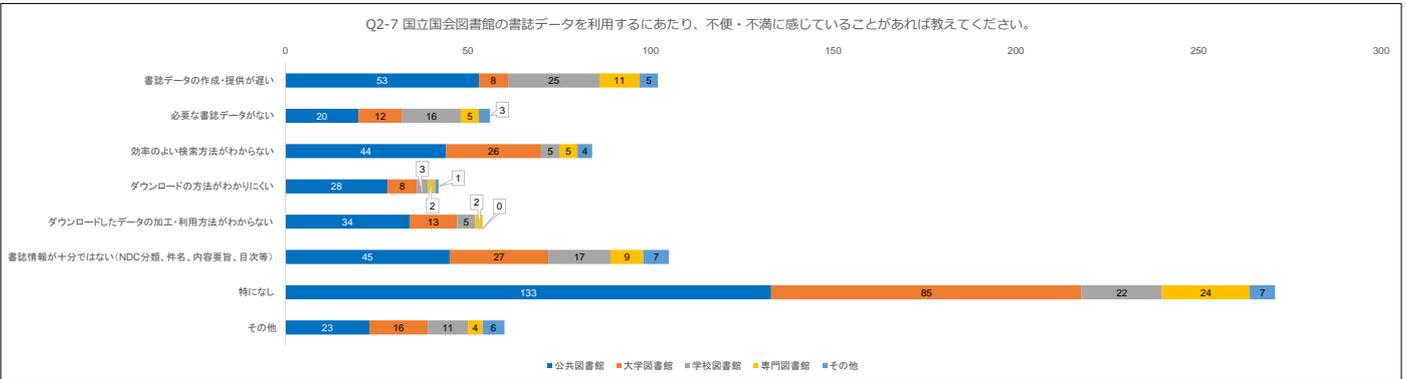
Q2-7：国立国会図書館の書誌データを利用するにあたり、不便・不満に感じていることがあれば教えてください。

※当てはまるものをすべてお選びください。(必須回答・複数回答可)

<Q2-1で「利用している」を選択した回答者への質問>

回答数：588

	公共図書館	大学図書館	学校図書館	専門図書館	その他	全体	百分率
書誌データの作成・提供が遅い	53	8	25	11	5	102	17.3%
必要な書誌データがない	20	12	16	5	3	56	9.5%
効率のよい検索方法がわからない	44	26	5	5	4	84	14.3%
ダウンロードの方法がわかりにくい	28	8	3	2	1	42	7.1%
ダウンロードしたデータの加工・利用方法がわからない	34	13	5	2	0	54	9.2%
書誌情報が十分ではない(NDC分類、件名、内容要旨、目次等)	45	27	17	9	7	105	17.9%
特になし	133	85	22	24	7	271	46.1%
その他	23	16	11	4	6	60	10.2%



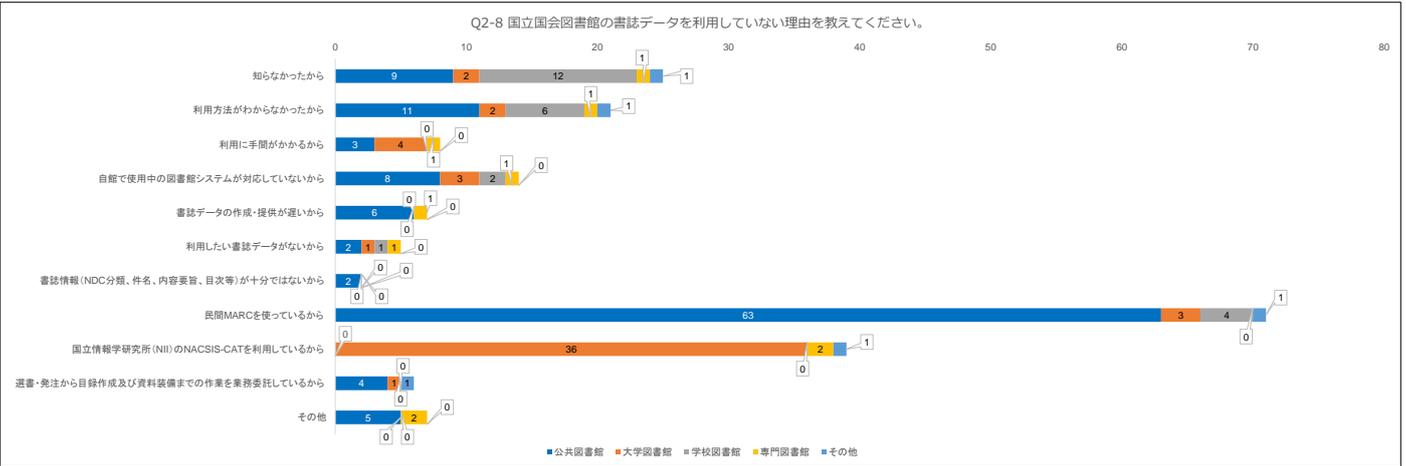
Q2-8：国立国会図書館の書誌データを利用していない理由を教えてください。

※当てはまるものをすべてお選びください。(必須回答・複数回答可)

<Q2-1で「利用していない」を選択した回答者への質問>

回答数：147

	公共図書館	大学図書館	学校図書館	専門図書館	その他	全体	百分率
知らなかったから	9	2	12	1	1	25	17.0%
利用方法がわからなかったから	11	2	6	1	1	21	14.3%
利用に手間がかかるから	3	4	0	1	0	8	5.4%
自館で使用中の図書館システムが対応していないから	8	3	2	1	0	14	9.5%
書誌データの作成・提供が遅いから	6	0	0	1	0	7	4.8%
利用したい書誌データがないから	2	1	1	1	0	5	3.4%
書誌情報（NDC分類、件名、内容要旨、目次等）が十分ではないから	2	0	0	0	0	2	1.4%
民間MARCを使っているから	63	3	4	0	1	71	48.3%
国立情報学研究所（NII）のNACSIS-CATを利用しているから	0	36	0	2	1	39	26.5%
選書・発注から目録作成及び資料装備までの作業を業務委託しているから	4	1	0	0	1	6	4.1%
その他	5	0	0	2	0	7	4.8%



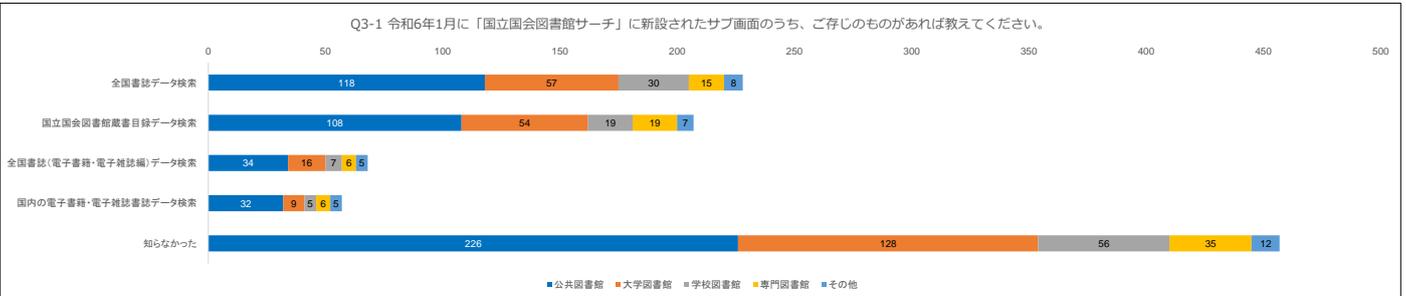
Q3 「国立国会図書館サーチ」に新たに設けられた「全国書誌データ検索」等のサブ画面について、おたずねします。

Q3-1：令和6年1月に「国立国会図書館サーチ」に新設されたサブ画面のうち、ご存じのものがあれば教えてください。

※当てはまるものをすべてお選びください。(必須回答・複数回答可)

回答数：735

	公共図書館	大学図書館	学校図書館	専門図書館	その他	全体	百分率
全国書誌データ検索	118	57	30	15	8	228	31.0%
国立国会図書館蔵書目録データ検索	108	54	19	19	7	207	28.2%
全国書誌（電子書籍・電子雑誌編）データ検索	34	16	7	6	5	68	9.3%
国内の電子書籍・電子雑誌書誌データ検索	32	9	5	6	5	57	7.8%
知らなかった	226	128	56	35	12	457	62.2%



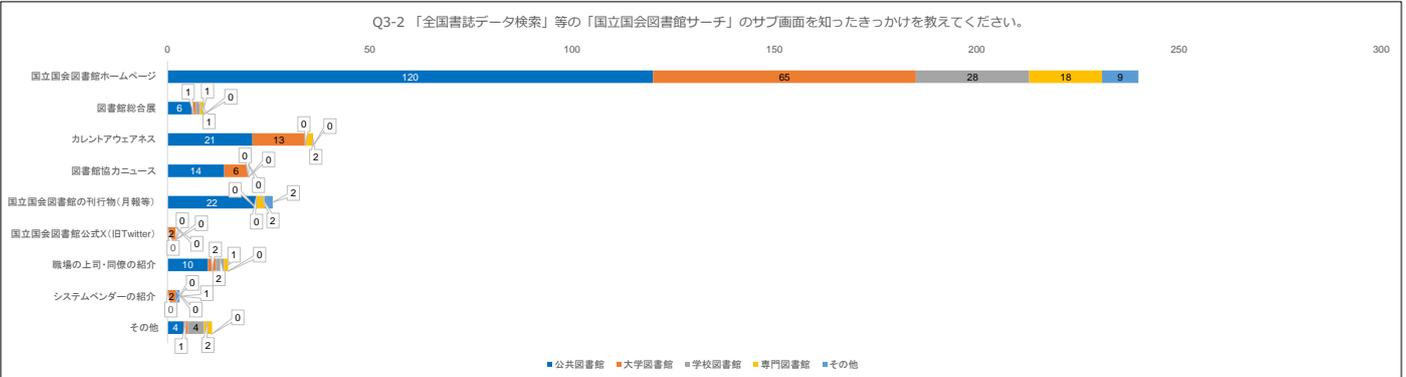
Q3-2: 「全国書誌データ検索」等の「国立国会図書館サーチ」のサブ画面を知ったきっかけを教えてください。

※当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

<Q3-1で「知らなかった」以外を選択した回答者への質問>

回答数: 278

	公共図書館	大学図書館	学校図書館	専門図書館	その他	全体	百分率
国立国会図書館ホームページ	120	65	28	18	9	240	86.3%
図書館総合展	6	1	1	1	0	9	3.2%
カレントアウェアネス	21	13	0	2	0	36	12.9%
図書館協力ニュース	14	6	0	0	0	20	7.2%
国立国会図書館の刊行物(月報等)	22	0	0	2	2	26	9.4%
国立国会図書館公式X(旧Twitter)	0	2	0	0	0	2	0.7%
職場の上司・同僚の紹介	10	2	2	1	0	15	5.4%
システムベンダーの紹介	0	2	0	0	1	3	1.1%
その他	4	1	4	2	0	11	4.0%

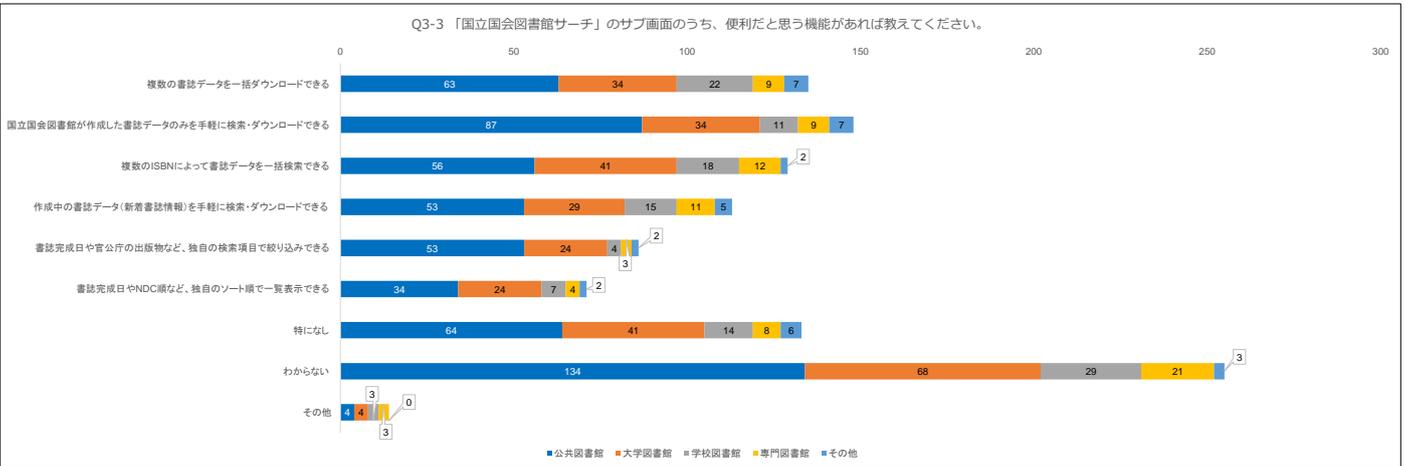


Q3-3: 「国立国会図書館サーチ」のサブ画面のうち、便利だと思う機能があれば教えてください。

※当てはまるものをすべてお選びください。(必須回答・複数回答可)

回答数: 735

	公共図書館	大学図書館	学校図書館	専門図書館	その他	全体	百分率
複数の書誌データを一括ダウンロードできる	63	34	22	9	7	135	18.4%
国立国会図書館が作成した書誌データのみを手軽に検索・ダウンロードできる	87	34	11	9	7	148	20.1%
複数のISBNによって書誌データを一括検索できる	56	41	18	12	2	129	17.6%
作成中の書誌データ(新着書誌情報)を手軽に検索・ダウンロードできる	53	29	15	11	5	113	15.4%
書誌完成日や官公庁の出版物など、独自の検索項目で絞り込みできる	53	24	4	3	2	86	11.7%
書誌完成日やNDC順など、独自のソート順で一覧表示できる	34	24	7	4	2	71	9.7%
特になし	64	41	14	8	6	133	18.1%
わからない	134	68	29	21	3	255	34.7%
その他	4	4	3	3	0	14	1.9%



Q4 最後に、国立国会図書館の書誌データ提供について、おたずねします。

Q4-1：書誌データの提供について、今後、国立国会図書館に期待する取組は何ですか。  
※当てはまるものをすべてお選びください。(必須回答・複数回答可)

回答数：735

	公共図書館	大学図書館	学校図書館	専門図書館	その他	全体	百分率
無償提供の継続	311	160	78	45	14	608	82.7%
作成・提供の迅速化	155	60	43	25	9	292	39.7%
信頼性・品質の維持	227	137	56	35	13	468	63.7%
データ件数の増加	147	77	27	25	9	285	38.8%
詳細な書誌情報(NDC分類、件名、内容要旨、目次等)の提供	209	124	47	34	14	428	58.2%
APIで提供するデータ形式の拡大	24	24	16	7	7	78	10.6%
研修会・説明会の実施	70	50	11	11	4	146	19.9%
書誌フォーマットあるいは提供データ形式の拡大(例：BIBFRAME、CSV等)	37	29	11	7	4	88	12.0%
特になし	20	5	4	1	0	30	4.1%
その他	8	9	6	2	5	30	4.1%

